

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Vol.07
2021

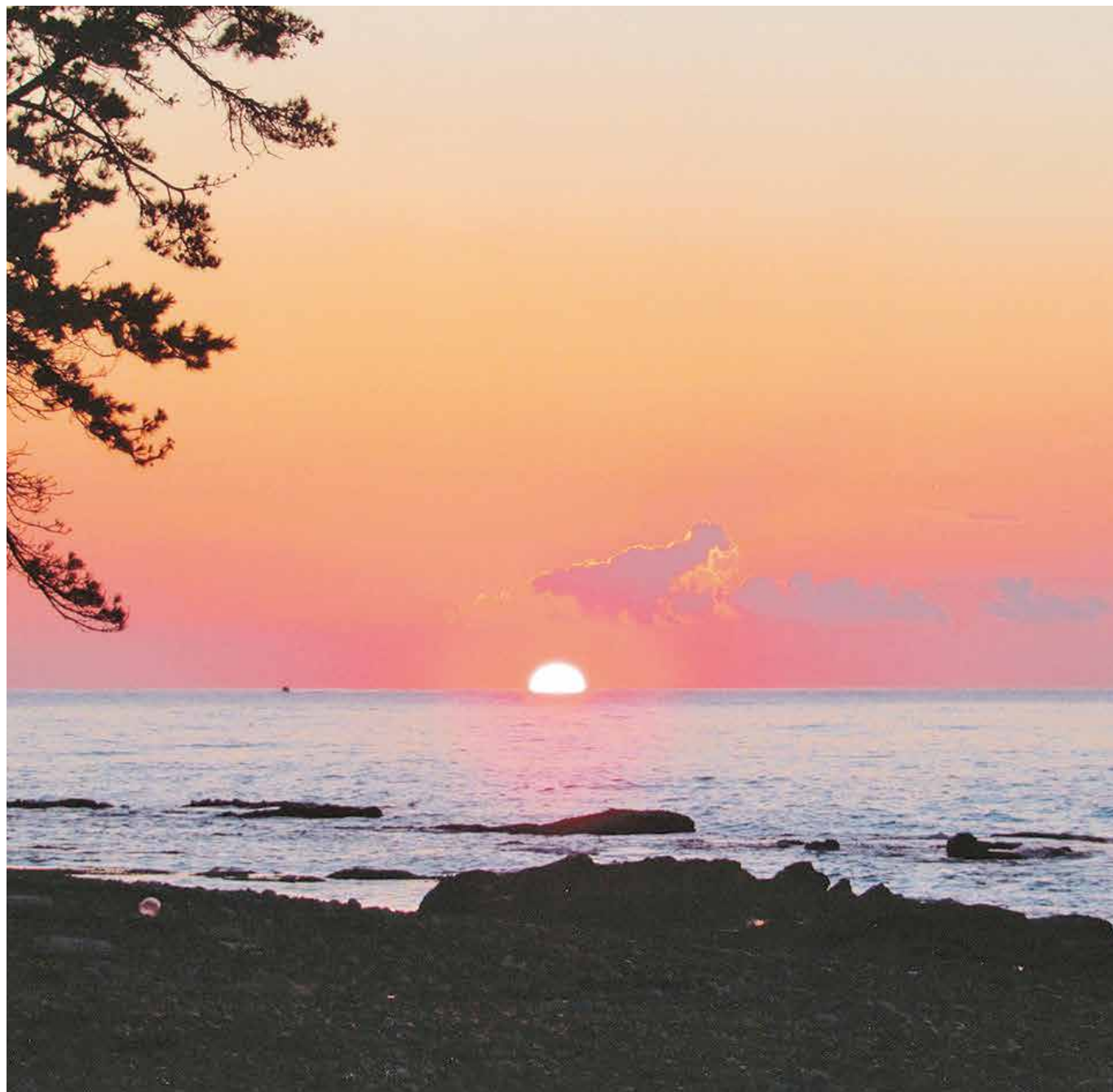
01

Rotary
第2530地区



Rotary Opens
Opportunities

Rotary International District 2530



CONTENTS ガバナー月信 2021年01月号

「三崎の日の出」(撮影：比佐臣一)

ガバナーメッセージ	2	ロータリー財団地域セミナー	8	RC会員 親子ロータリアンに聞く	16
創立35周年記念例会	3	第49回ロータリー研究会	9	米山奨学生とカウンセラーとの交流	18
第3回戦略計画委員会	3	第2回ガバナー会議	9	職業奉仕委員会	21
東北第一分区IM	4	ガバナーエレクト事務所開設披露式	9	米山記念奨学会ご寄付の表彰者	22
青少年奉仕委員会	4	志賀利彦ガバナーエレクト国際協議会激励会	10	新会員紹介	22
青少年交換留学生選考会	4	国際ロータリー地域戦略計画推進セミナー	10	文庫通信	22
第1回地区危機管理委員会	5	第3回「地区のあゆみ」編集委員会	11	11月会員数報告	23
マスクミ懇談会	5	第6回全国青少年交換委員長・全国危機管理委員長合同会議	11	地区大会案内	24
第3回諮問委員会	6	クラブ会長方針	12	1月行事案内	24
地区大会委員会並びに会長・幹事会	6	IAC/RAC紹介	13	公共イメージQRコード	24
ロータリー財団補助金セミナー	8				

国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒 秀 司

2020-21年度 ガバナー事務所 〒963-8004 福島県郡山市中町3-5 新城ビル3F
TEL:024-953-3907 FAX:024-953-3908 E-mail:2020-21ishiguro@ri2530.com

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2530地区
2020-21年度ガバナー

石黒 秀 司

親愛なる2530地区の皆さま

新年、おめでとうございます。皆さん、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスに翻弄された一年となりました。国際協議会、地区チーム研修は辛うじて実施されたものの、正に、新年度に向けてステップ、ジャンプの勢いのつく時に片翼がもがれたようにPETS、地区研修・協議会が、形を変えての開催に。そして、ほとんどのクラブが、3か月程度の例会休止となり、年度末に、未だかつてない程の退会者を出しました。その一方で、例会休止により、「例会開催は当たり前ではなく、例会開催の有難いこと」と感じ、「オンラインでの会合やオンライン例会」の扉も開いてくれたとの良い部分もありました。「人間、万事塞翁が馬」、「ピンチはチャンス」的な感覚すら感じている方もお出でかもしれません。この一年は、皆さんにとってチャンスだったんですか？それとも、ピンチだったんでしょうか？かつて、クラブ例会の卓話で、「野球で代打をピンチヒッターというけれど、あれは、チャンスヒッターだ。」と聞いたことがあります。「だいたい、得点チャンスに出てくるケースが多いし（これこそ得点するチャンス）、走者がいなくてもヒットを打ってチャンスを作るために出てくる。（チャンスメイク）」なるほどなあと思いました。案外、同じ環境でも、チャンスかピンチかとどちらに見るかによって結果や状況は変わってくるケースも良くあります。事実、この半年、増強に成功したクラブの会長は、「こんな環境だから、一緒に奉仕活動をしましょう」（いわき分区）とお誘いしていると聞きました。また、大幅に新会員を迎えたクラブ会長は、「この環境だから、クラブ一丸になって増強に取り組めた。」

（中央分区）とも言っています。気持ちだけは、

前向きに肯定的に積極的にいきたいものです。元アサヒビール社長の樋口廣太郎氏の著書に「挑めばチャンス 逃げればピンチ」があります。まずは、心持、そして、前向き、肯定的、積極的な行動だと心機一転、新年の今、胸に刻みましょう。

さらに、ロータリアンだったトーマス・エジソンの楽観性と粘り強さを少々、付け加えてはどうでしょう。エジソンが電球を発明した時に何に一番苦労したかというフィラメントという髭みたいな物質を見つけることだったそうです。最終的には竹の繊維が光ることを発見したのですが、そこにたどり着くまでが凄いです。フィラメントになりそうな物質を2000個も試して疲労困憊していた時、周りの人達がたまりかねて、もう諦めた方が良いつて忠告したそうです。そうしたら、エジソンは「フィラメントになりそうな物質は世界中に5500個くらいある。すでに2000個試した。あと3500個だから、そのうち見つかるよ」ですって。チョー楽観的であり、チョー粘り強い。「そのうち見つかる」と楽観的に考えて、脳を「快」の状態にしておけば、私たちのコンピューターはうまく行く方法を探し続けるのかもしれませんが、運も引き寄せるのかもしれませんが。

さあいよいよ、年度の後半です。気持ち新たにリセットボタンを押して、良い流れを作っていきましょう。ゆっくりと腰を落ち着けて、まずは、じっくり焦らずクラブ活性化・クラブ魅力最大化に取り組みましょう。まずは、例会です。充実した例会プログラムですか？よく言う楽しい例会ですか？（本当に楽しい。または、為になる。）例会に集う会員はワクワクですか？出席率はどうですか？例会時に発想の交換はなされていますか？突き詰めれば、色々な自問自答ができます。是非、今、しっかりと見つめ直し、しっかりクラブに集う喜びを感じましょう。「クラブ魅力最大化」から増強への良い流れが理想です。しっかりイメージして、そして、イメージの具現化を!! 何とかありますから!!

創立35周年記念例会 会津若松城南RC

6月30日（火）18時から会津迎賓館に於いて、中止となった記念例会を縮小し、創立35周年記念例会並びに懇親会を執り行いました。

お客様として、福島ロータリークラブ加藤義朋様、二本松ロータリークラブ三津間誠吉様、大塚青少年奉仕委員長令夫人、会長令夫人、をお迎えし、村崎会長・鈴木幹事・木村実行委員長挨拶・山田記念事業部長より発表を行った。

創立35周年記念事業発表、

- ・福島県立会津学鳳中等学校読書感想文コンクール主催・表彰
- ・福島県立会津学鳳中・高等学校の城南文庫図書寄贈
- ・一般財団法人青少年交流振興協会が刊行した日本神話絵本を
岡崎城南RC（1/30愛知県岡崎市へ寄贈）
余市RC（5/14北海道余市町へ寄贈）
- ・児童養護施設会津児童園への寄附
- ・会津若松市へ寄附
- ・若松乳児院へ寄贈

又、当クラブ歴代会長30代から34代へ感謝状及び記念品の贈呈、チャーターメンバーへ感謝状の贈呈並びに記念品を贈呈、黒澤会員より会長へ書の贈呈が執り行われ、懇親会の部では岡本実行委員長挨拶、会津田島太鼓 辰巳会による演武が披露され、親睦委員会主催のミニゲーム・じゃんけん大会など活気に満ち溢れ、会員同士の親睦

と絆が深まり楽しい懇親会となりました。

黒澤相談役による万歳三唱、大塚副実行委員長による発声で閉宴した。

今年度は、時代の変化が起こるこの世の中において、人と人との関係性、仲間との絆、家族との和合、自分1人ではなく全ての行為・行動が未来の人生に繋がっていく…とても重要な時を会員の皆様、そして地域の皆さんと共に歩めたことに感謝し、ご出席いただきました皆様ありがとうございました。



第3回戦略計画委員会 11月12日

さる11月12日（木）ガバナー事務所において第3回戦略計画委員会が開催された。

5年間のテスト期間での地区事務所開設（10月・第2回諮問委員会）に向けての経費面、タイムスケジュール、地区行事の集約、開催時期について話し合われた。地区事務所については、2年間（志賀年度、佐藤年度）は移行期間として、ガバナー事務所と地区事務所の双方開設のため、経費の増額が予想されるものの、3年後からは、地区事務所のみとなる為、経費の大幅削減が期待されると同時に、事務局に任せきりにせず地区委員会主導による委員会完結型の運営を目指すことにより、事務局負担の軽減と地区委員会の活性化

2020-21年度ガバナー 石黒 秀司

が大きなポイントとなります。その他、地区行事の集約、例えば、ガバナーエレクト事務所開設披露式典と国際協議会壮行会を今までは、別々に開催していたものを、一緒に開催することで、参加者の負担、設営するクラブの負担を軽減することや、地区研修・協議会の事前打ち合わせの正副リーダー会議を今年度同様、委員会独自に開催とし、地区研修・協議会を4月に前倒しで開催することで、クラブの新年度への準備期間をより多く取ることができるのでは、などの議論がなされた。その他、会員増強についての現状説明、今後の取組について話し合った。

県北第一分区IM 11月14日

県北第一分区ガバナー補佐 廣澤 俊樹 (福島南RC)



11月14日(土)、福島市のウエディングエルティに於いて、110名の出席を得、ホスト福島ロータリークラブによって2年越しのIMが開催されました。阿久津肇パストガバナーによる「ロータリーの来し方を顧み、行く末を見つめて」の講演では、ロータリーの発祥、親睦、奉仕、転機、目的、理念、原点等について講演を受け、過去、現在、未来のロータリーの在り方を考え、またコーディネーター平井義郎パストガバナーによるパネルディスカッションに於いては、分区内各クラブより1名ずつ、様々なポジションの会員がパネリストとして登壇し、「5年後のロータリー・5年後のクラブを語ろう」と題し、非常に興味ある内容のこもったディスカッションを繰り広げました。ベテラン会員、会長経験者、若手会員、地区委員経験者、女性会員、転勤企業会員等のポジションからの意見は、時折会場より笑いを誘うなど堅苦しくなく、例会の在り方、会員の維持、増強、女性会員、入会の意義、等々の聴きごたえのある意見が相次ぎ、時間を忘れさせるものとなりました。

残念ながらこの状況下懇親会は開催致しません

でしたが、全員が我慢の時であることを理解し、短時間ではありましたが、オンラインとは違い同じ場に於いて五感を使つてのミーティングは、「ロータリーを理解し、奉仕の理想の実践について意見と情報を交換し、相互理解を深める」と言うIMの目的を十分に満たしたものでとなりました。

結びに、ホスト福島ロータリークラブ始め、ウエディングエルティ、並びに関係者の皆様、運営にご協力頂きました出席者全員の皆様に深く感謝を申し上げ報告と致します。



青少年奉仕委員会 青少年交換留学生選考会 11月15日

青少年奉仕委員会・青少年交換委員会委員長 細川 正司 (石川RC)



2020-21年度の青少年交換留学生の選考会を、11月15日に郡山市労働福祉会館において開催いたしました。当日は、選考委員として石黒ガバナー、芳賀直前G、志賀GE、遠藤青少年奉仕委員長、大木副委員長、関根地区幹事、蛭田次期地区幹事、青少年交換委員会(4名)の11名の出席をいただき選考会を開催いたしました。

当日は、渡辺七海(昌平高1年)さん、佐藤亜美(昌平高1年)さん、穴沢征大(山都中3年)君、縦山和澄(福島高1年)君、藤田亜煉(須賀川桐陽高1年)君の5名が父兄と一緒に面接を行いました。RIが主催する交換留学制度の説明をしたのちに、一人20分と短い面談の中でしたが、自己紹介や留学に対する熱い思いの発表後、選考委員より質疑応答となりました。志願者全員の素晴らしい対応に選考員一同感心したほどです。また、昨年選考会において合格しておりました、山

崎岬(桜の聖母高1年)さんを含めて合計6名が対象者となりました。

ここ数年は、交換留学生の募集は各RCを通じた募集から、直接各学校へのアプローチやIAC協議会での説明とポスター・募集チラシの配布にしたために、スポンサークラブが決まっていない学生数名おります。RIのテーマが「ロータリーは、機会の扉を開く」です。

クラブには様々な事情がありとは存じますが、青少年達の夢を叶えさせてあげるためにご協力をお願いいたします。



第1回地区危機管理委員会 11月15日

地区危機管理委員会委員長 芳賀 裕 (福島中央RC)



COVID-19の第3波が押し寄せ緊張が高まっていた11月15日(日)、郡山市労働福祉会館において、委員13名により標記会議が開催された。

冒頭、昨年度の青少年交換委員長の佐藤正道ガバナーノミニーより昨年度青少年交換事業においてCOVID-19に伴い受入学生3名、派遣学生1名を早期帰国させるという苦渋の選択をした経緯と、受入クラブはもとより相手地区・クラブ・保護者等との情報伝達・連携が重要であったと報告された。

次いで、委員長が、7月5日開催の「第5回全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同オンライン会議」の報告をした。この中で、今回RIJEM(一般社団法人国際ロータリー日本他地区合同機構)が発出したCOVID-19対応指針の判断基準は「青少年交換学生はそれぞれの母国政府の方針に従い、即刻実行に移す」というものであり、そこには2011年3月11日の東日本大震災・東京電力福島第一発電所爆発による放射能汚染の際、被災地である本地区と2520地区の来日学生の

安否確認が取れず混乱した反省が生かされた、とあり、本地区においては特に危機管理体制の整備が喫緊の課題であると強調した。また、参加委員からは、COVID-19に対応し工夫をした今年度の各事業の紹介がなされた。

危機管理には「リスク・マネジメント」と「クライシス・マネジメント」が含まれ、最近では「ハラスメント・マネジメント」も重要な要素になっている。青少年と関わる奉仕活動に携わる各クラブではRIの「ロータリー青少年保護の手引き」に必ず目を通していただくをお願いすると共に、「地区の危機管理計画」「事業継続計画(PCP)」の策定を急ぐことが話し合われた。



マスコミ懇談会 11月20日

公共イメージ・IT委員会委員長 相良 元章 (福島RC)



- 日時：令和2年11月20日14時～15時30分
- 場所：セルフミーティングルーム虎丸(郡山市)
- マスコミ関係参加者(9名)：
 - 福島民報社郡山本社代表 荒木様、福島民友新聞郡山総支社報道部長 高橋様、NHK福島放送局放送部長 吉崎様、福島テレビ郡山報道部長 佐久間様、福島中央テレビ報道部長 木村様、福島放送常務取締役 古川様、テレビユー福島郡山報道部長 水津様、ラジオ福島放送部長 手塚様、ふくしまFM編成技術局長 古賀様
- ロータリー関係参加者(15名)：石黒ガバナー、芳賀直前ガバナー、関根地区幹事、藤田G補佐、廣澤G補佐、渡部G補佐、林G補佐、角田G補佐、遠藤青少年奉仕委員長、早川R財団委員長、公共イメージIT委員会(相良、佐藤真也、佐藤雄三、町田晃、内藤)
- 開催目的：県内の報道マスコミ各社をお招きし、ロータリー活動の情報提供を行うと共に公共イメージ向上についての意見交換を行い、各社のロータリーへの理解と関係を強化する。
- プログラム：
 - 開会の辞(佐藤雄三公共イメージ委員長)(司会：町田IT委員長)
 - 主催者挨拶(石黒秀司ガバナー)
 - 開催趣旨とプログラムの説明(相良元章公共イメージIT委員長)
 - 出席者の紹介(佐藤真也公共イメージIT副委員長)
 - ロータリーからの情報(石黒秀司ガバナー)15分

意見交換(コーディネーター：佐藤真也公共イメージIT副委員長)60分

質疑応答

御礼の挨拶(芳賀裕直前ガバナー)

- 内容と評価：今回で3回目をむかえるマスコミ懇談会は感染症対策を施しながら開催された。相良公共イメージIT委員長から開催趣旨の説明、石黒ガバナーからロータリーの概要と今年度地区活動計画の情報提供が行われた。その後の意見交換ではロータリーの認知度向上について活発な討議が行われた。報道各社からは単なるイベント開催のお知らせだけではなく、背景やストーリーを添えて情報提供することの重要性などが指摘された。また報道各社へのアンケートでポリオ根絶や青少年奉仕活動について関心の高さが読み取れる。芳賀直前ガバナーの挨拶では、参加各社への感謝とロータリーの広報の不足についての反省が語られた。全体を通してマスコミ各社の“本音”が聞ける貴重な機会となった。



第3回諮問委員会 11月21日



地区幹事 関根 信 (郡山RC)

2020年11月21日(土)、郡山ビューホテルアネックスに於いて第3回諮問委員会が開催されました。報告事項については次の通りです。

(1) 地区大会委員会報告の件

1. 資格審査委員会報告

平井義郎委員長よりRI細則第15条の規定により提出済の信任状の審査の結果、地区内クラブ数63クラブ、会員数2205名、選挙人93名との報告がなされました。

2. 選挙委員会報告

鈴木邦典委員長より以下のとおり報告がなされました。

①国際ロータリー第2530地区2022-23年度、ガバナーの指名委員会の報告として、当年度ガバナーノミニー候補者として、喜多方RC佐藤正道会員が推薦されたことについて

②当地区2023-24年度ガバナーノミニーの選出は、ガバナーノミニー指名委員会において、目下進行中であることについて

③2024-25年度の「ガバナー候補者の選出方法」は指名委員会の手続きを「指名委員会の指名委員並びに職務権限」は2530地区ガバナーノミニー指名委員会規定に則って行うことで決議することについて

3. 決議委員会報告

佐久間英一委員長より地区大会決議(案)を

「決議第1号から決議第10号」とするとの報告がなされました。

(2) 鈴木邦典委員長より12月6日(日)10時よりホテルハマツにて「地区のあゆみ」編集の為、委員会を開催する旨の報告がなされました。

(3) 石黒秀司ガバナーより、戦略計画委員会で検討中である、地区事務所固定化について3年後をめどに進めたい旨の報告がなされました。

(4) 日本のロータリー100周年開催の件について、2021年5月25日(火)ザ・プリンスパークタワー東京にて、「日本のロータリー100周年を祝う会」を開催するとの報告がなされました。

〈2021-22年度関係〉

志賀利彦ガバナーエレクトより以下の報告がなされました。

(1) 2020年11月29日(日)パレスいわやにて、ガバナーエレクト事務所開設披露式・国際協議会を行うことについて

(2) 12月19日(土)ガバナーエレクト事務所にて、次期ガバナー補佐研修会を行うことについて

(3) 台北国際大会が2021年6月12日から16日まで台湾台北で開催されることについて

地区大会委員会並びに会長・幹事会 11月21日

地区幹事 関根 信 (郡山RC)

2020年11月21日(土)郡山ビューホテルアネックスにおいて、国際ロータリー第2530地区2020-21年度地区大会委員会並びに会長・幹事・選挙人会が総勢約150名で行われました。司会は、地区幹事の関根信が担当。

石黒秀司ガバナーの開会点鐘で始まり、国歌斉唱、二瓶健一ソングリーダーのもとロータリーソング「奉仕の理想」斉唱、石黒秀司ガバナーより挨拶がありました。

司会より、本日出席の定足数の確認を行い会長及び会長代理は58名、選挙人数87名との報告がな

され、議長の選出については慣例により石黒ガバナーが議長を務め、議事に入りました。

尚、以下開票にあたって、藤田弘美中央分区分ガバナー補佐、佐久間弘行県北第二分区分ガバナー補佐が立会人となりました。

議題1 2019-20年度地区資金決算・監査報告
鍛冶輝雄資金委員長から地区資金決算報告書にもとづいて報告があり、佐藤晃子会計監事から監査報告がなされた後、採決に入りました。結果、クラブ会長を含むクラブ代表者数58票全員賛成で承認可決されました。

議題2 2021-22年度地区大会開催日・会場について

志賀利彦ガバナーエレクトから2021-22年度地区大会の開催日時と会場について11月6日、7日いわき市で開催する内容の提案があり、採決の結果、出席クラブ会長53名全員一致で承認可決されました。

議題3 地区大会委員会の報告並びに審議にあたり、平井義郎資格審査委員長より本日出席の選挙人数は87名である報告がなされ、選挙委員会の鈴木邦典委員長より、ガバナー候補者に関しましては、すでに2021-22年度は志賀利彦ガバナーエレクトが、2022-23年度は佐藤正道ガバナーノミニーが決定し、2023-24年度のガバナー候補者の選出は、目下指名委員会で進行しているとの説明の後、2024-25年度ガバナー候補者の選出方法について、当選挙委員会としては、「指名委員会による手続き」を決議、もう一つ「指名委員会委員の選出方法を含む指名委員会の職務権限」については2530地区ガバナーノミニー指名委員会規定に則って行うことを上程し、一括審議に入り、結果、

出席選挙人87名全員賛成で承認可決されました。

次に決議委員会の佐久間英一委員長より報告があり、地区大会決議案第1号から第10号まで上程がなされ、出席選挙人87名全員賛成で承認可決されました。

その後、石黒秀司ガバナーより今お伝えしたいことと題してお話があり、佐原元パストガバナーより心強いそして心暖まる激励の言葉をいただきました。

最後にホストクラブである池田達哉郡山RC会長より挨拶、石黒秀司ガバナーの閉会点鐘で閉会となりました。

その後懇親会の予定でしたが、大会前日郡山で新型コロナ感染でいわゆるクラスターが発生してしまい、かかる状況を総合的に鑑み断腸の思いで止むなく中止とさせていただきました。

最後になりますが、来年4月4日の地区大会が皆様と改めて親しく歓談ができる機会になりますことを心より祈念して、今回の報告とさせていただきます。



ロータリー財団補助金セミナー 11月22日

ロータリー財団委員会委員長 早川 敬介 (郡山北RC)



11月22日(日) 於:郡山市ユラックス熱海 2F大会議室、13:00から61クラブ代表の登録と地区役員の方々総勢114名の参加をいただきました。(2クラブ欠席)

新型コロナウイルスCOVID-19対応で借用施設側より人数制限を受けましたが、検温と消毒をいただき入室し、全員がマスク着用と間を空けての着席に無駄話をしないことを前提にセミナーを進めました。

石黒秀司ガバナーの挨拶、地区研修委員会委員長平井義郎バスターガバナーの挨拶、担当相談役鈴木邦典バスターガバナーの挨拶、志賀利彦ガバナーエレクトの挨拶に続いて委員長が挨拶の中で、各クラブにお願いしたいこととして、

1. 年次寄付「0クラブ」を無くすため、3月中に振込んでいただきたいこと
2. 地区目標である年次基金一人当たり\$150、ポリオプラス一人当たり\$30を達成すること
3. 地区補助金申請に関し、「覚書(MOU)」は、1月中に志賀利彦ガバナーエレクト事務所へ提出のこと
申請書は、事前にチェックを受け、正式書類を3月末日までに志賀利彦ガバナーエレクト事務所へ提出のこと
4. 地区補助金報告書は、事前チェックを受け、正式書類を5月20日まで石黒秀司ガバナー事務所へ提出のこと

を、また、新年度になり財団に関しての次のような変更事項があり書類の訂正等をお願いしました。

1. グローバル補助金に関して、現金拠出に対するWFからの上乘せが無くなったこと
2. 地区からのDDFに対するWFからの上乘せ額の下限額が無くなったこと(上限額は\$400,000。プロジェクトの最低額\$30,000はその儘です)
3. 志賀利彦ガバナーエレクト事務所が決まったこと

で、各書類の提出先情報を配布したこと

4. 「ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受託の条件」が、2020年9月版になったこと
5. ガバナーのHPからダウンロードする新しい資料は、12月から出来るよう依頼していること

続いて、大野順道補助金委員長より、地区補助金の申請に関する手続きなどについて前記の内容を詳細に説明いただきました。

川又暉之財団資金管理委員長からは、各書類の提出期限が守られないと補助金の振込が遅れること、受取人情報書式には正確に入力いただけないと手数料にも関わることなどが話されました。

小生は、「グローバル補助金と地区補助金」についてRI財団本部担当者の紹介、2種類の補助金の違いについて、地区補助金NG事例・適切例、グローバル補助金の重点分野別内訳・不承認状況・カテゴリーなどをプレゼンしました。

2種類の補助金の使用プロジェクトをすることでクラブが地域にとってなくてはならないものとなり、会員が結束し、クラブが活性化し、ロータリー活動が周知いただけるよう願っております。

Doing Good in the world



ロータリー財団地域セミナー 11月24日

ロータリー財団委員会委員長 早川 敬介 (郡山北RC)

13:00 受付開始

13:30 司会: 第3地域ARRFC藤中秀幸様によりスタート。

主催者挨拶: 第3地域RRFC田中泰三様、RI理事辰野克彦様に続いて、TRF管理委員長K.R.ラビンドラン様からMovieでの挨拶の中で、感染症への歴史的取組とポリオ根絶について。

TRF管理委員会特別アドバイザー三木明様からTRFの2019-20年度財務関係の報告がなされました。

ポリオ根絶コーディネーター松本泰三様からポリオ根絶最終計画(2019~23)と現況報告がありました。

補助金リソースコーディネーター アンドリュー・ウォン様より補助金専門家グループ(Cadre)の活動とCadre募集について。

14:40 パネルディスカッション「海外クラブ(地区)との交流と国際ロータリー奉仕事業の促進」をテーマに、ファシリテーターにD2760RIネットワーク奉仕グループ委員会委員福田哲三様、パネリストにD2840ガバナー山田邦子様、D2710DRFC

山本清様、D2650GG委員長柳澤育代様で行われました。

それぞれの方々がご自身の取組まれた事例からどのように発展させてグローバル補助金プロジェクトをやってこられたのかを話され、大変参考になりました。

皆さんが、「取組む動機と意欲、そして諦めないで続けることが成功に導くこと」を話されました。

今回の「ロータリー財団地域セミナー」は、新型コロナウイルスCOVID-19対応でWebによるセミナーになり、他地区の方々との交流はできませんでしたが、より具体的な事例を持たれた方々の発表が今後の取組の参考になったのではないかと思います。



第49回ロータリー研究会 11月25日

2020-21年度ガバナー 石黒 秀司

去る11月25日（水）に第49回ロータリー研究会が、初の試みとしてZoom会議・オンライン形式で開催された。当日発表の参加者は、第1部、第2部で約860名、パートナーの登録も60名を超えた。第1部では、開会点鐘のあと、招集者である辰野克彦RI理事の挨拶に始まり、RI理事会報告（辰野RI理事）、TRF報告（三木明TRF管理委員会特別アドバイザー）があった。喫緊の課題として、①コロナに関わる奉仕について、②会員維持は切実で、特に注力している。③オンラインミーティングへの支援と推進についての話や7つ目の重点分野として「環境」が加えられた旨の話があった。

グループディスカッションでは、テーマ「魅力ある会員基盤を創ろう！」「奉仕の扉を開こう！」「輝く未来を創ろう！」の3グループで行われた。私が参加した「魅力ある会員基盤を創ろう！」の中で、ロータリークラブの魅力について、次のような意見が出た。

●若手からすると企業経営者の大先輩と一緒に活動ができる。●ロータリーを通じてしか知り得ることができなかった奉仕の心を持った人々とのネットワークを楽しめる。●ロータリーには「教育的性格」がある。●ロータリーには、深い精神性がある。●職業における高潔性を謳うのは、ロータリーだけ。（新会員お誘いのトークに！）

第2部は、「クナークRI会長と語ろう」のテーマで約1時間のセッションとなった。会長から「変化の建築家になって欲しい。5年後にどこに行くのか？しっかりと戦略計画を！ロータリーに非常に誇りに感じている。」などの講話の後、質疑応答となった。

オンラインの開催でしたが、問題もなく、当地区からも例年よりも多くの参加者があった。今後、いわゆるハイブリッドなどの形態も取り入れ、多くの方々も登録できるスタイルを模索すべきかと考えた。



クナークRI会長



第2回ガバナー会議 11月26日

2020-21年度ガバナー 石黒 秀司

さる11月26日（木）Zoom オンラインにて開催された。今回の会議では、2019-20年度ガバナー会決算報告、日本のロータリー100周年実行委員会、ロータリー文庫、の決算報告がされた。また、同期ガバナー会の名称として、日本のロータリー100周年に因み「センチュアル会」となった。その後は、情報交換の時間となった。冒頭、辰野克彦RI理事より「世界は、ロータアクターの若い方々に期待している。それも詳しいかた…。ロータリーの未来形成について」のRI理事会報告があった。ロータアクトクラブ、ロータアクターの対応、公式訪問後のクラブ対応、公共イメージ

事例などの多岐にわたり情報交換がなされ、あっという間の2時間の会議だった。次は、顔を合わせたの再会に!!と後半に向けての頑張りを誓い合った。



ガバナーエレクト事務所開設披露式

志賀利彦ガバナーエレクト国際協議会激励会 11月29日



次期地区幹事 蛭田 修二（いわき小名浜RC）

2020年11月29日（日）いわき市の「パレスいわき」に於いて「ガバナーエレクト事務所開設披露式」及び「志賀利彦ガバナーエレクト国際協議会激励会」を開催いたしました。当初の予定では、「事務所開設披露式」を9月27日（日）に開催すべく準備しておりましたが、コロナ感染拡大の影響により「国際協議会激励会」と同日開催とし、地区内より、石黒ガバナー、芳賀直前ガバナー、パストガバナー、ガバナー補佐の皆様方はじめ、地区委員会より大委員長、副委員長、小委員長、そして、コロナ感染の影響を考慮して各クラブからは1名（いわき分区は2名）の参加を頂き、ホストクラブの小名浜クラブを含め参加者141名にて開催致しました。

14：00より「ガバナーエレクト事務所開設披露式」を開催し、阿部吉宏いわき小名浜RC会長による歓迎の挨拶の後、志賀利彦ガバナーエレクトより、ガバナーノミニージェグネート指名受諾から現在までの経緯と、ガバナーエレクトとして、またガバナーとしての抱負と決意について力強い挨拶がありました。その後、石黒ガバナー及び佐原パストガバナー、渡邊公平パストガバナーより祝辞があり、次期地区幹事の私から次期地区役員と事務局の紹介を行い閉会致しました。

15分の休憩の後、15：00より「国際協議会激励会」

を今年度の国際協議会が世界レベルでのコロナ感染拡大によりオンラインによる開催となった為「壮行会」ではなく「激励会」として開催致しました。石黒ガバナー及び芳賀直前ガバナーより「激励のこたば」を頂き、石黒ガバナーご夫妻より志賀ガバナーエレクトご夫妻に花束の贈呈、最後に志賀ガバナーエレクトの国際協議会に臨む決意を込めた謝辞があり閉会致しました。

その後、コロナ対策を十分考慮して懇親会を開催し一連の行事を無事終了致しました。遠方よりご出席頂きました皆様方に御礼申し上げますと共に、これからの1年半の活動に対しご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



国際ロータリー地域戦略計画推進セミナー 12月5日

2020-21年度ガバナー 石黒 秀司

さる12月5日（土）に第1・2・3地域戦略計画推進セミナーがオンラインにて開催された。冒頭、辰野克彦RI理事よりクラブの発展、活性化のため、戦略計画と会員増強がメインテーマであり、課題解決のために事例発表を参考にアイデアの交換を積極的にとの挨拶があった。その後、地域ごとにセッションが行われた。当地区の参加者は、第1地域のセッションに参加した。第1地域の菅原裕典RCよりアンケート調査の報告、さらに3名から事例発表があった。当セッションでは、①2560地区大谷光夫直前ガバナーから昨年度、34地区中増強できたのが、わずか2地区。その一つの地区で、地区増強委員長に増強に積極的な会員を配置。増強が可能なクラブへの積極訪問。退会防止の動きも同時進行。②2840地区伊勢崎中央RCの松原香直前会長から日本のロータリー100周年に因み、85名から会員100名達成への事例③2770地区浦和東RC北清治元RI理事より戦略計画委員会設置から未来のクラブ像を全会員に300字で書いてもらい、未来像の共有。会員100名

へ向けての事例の発表。その後、各地区からの取組の紹介があった。当地区は、特に増強への取組については、まず、①例会を中心にクラブ基盤向上とクラブ魅力最大化への取組。魅力最大化のための一つの要因が会員増強。②地区増強委員会の強化。8分区のAGを含め、委員にもAG経験者を多く配置。③機会あるごとに増強事例の紹介。④RCニュースの紹介。⑤増強の月別傾向の紹介と対策の報告をした。



第3回「地区のあゆみ」編集委員会 12月6日

地区史編集委員会委員長 鈴木 邦典（白河RC）



去る12月6日（日）午前10：00から郡山ホテルハマツにて第3回目となる地区史編集会議を開催した。

当日の会議では、まずガバナー挨拶、編集委員長挨拶で始まり、8分区担当の各編集委員より分区の資料回収状況の報告をいただいた。更に地区史の表紙等について全員協議し賛成のデザインに決定、また今回の地区史については約250頁、500冊を予定しており、1冊7千円位（税込み、前回1万円）での販売を予定。なお今後地区内外贈呈先等また地区内RC会員への販売方法についても

委細協議する予定。

次回の編集会議は翌年2021年3月7日（日）郡山・ホテルハマツにて開催の予定。なお当日出席者は以下の通り。

ガバナー	石黒 秀司
編集委員長	鈴木 邦典
同副委員長	芳賀 裕
同アドバイザー	佐原 元
同委員	佐藤 和夫
〃	星 富士雄
〃	橋本 芳家
〃	佐藤喜市郎
〃	小林 千秋
〃	青田 由広
〃	白岩 薫
地区幹事	関根 信



第6回全国青少年交換委員長・全国危機管理委員長合同会議 12月6日

地区青少年奉仕委員会委員長・危機管理委員会委員 遠藤 久（会津若松中央RC）

会議は、100名以上の参加者で対面式とZoom併用のハイブリット方式で行われました。

主催者を代表して「国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構〈RIJYEM〉」の鈴木孝雄理事長が挨拶されました。内容は、11月のRI理事会で2021年6月まで青少年交換が短期・長期とも中止されたことや、新型コロナウイルス感染の第3波が強くなっているなか、来年1月のRI理事会で台湾の国際大会開催が議論されることなどの懸念事項でした。

最初に1.「RI指針 安全ガイドライン」の概要や安全対策の内容の説明がありました。具体的に詳細に規定されていますが、何度も強調されたのは、地区の交換実施条件の2条件（参加決定事項・危機管理計画作成）を守らなかったときは、2年間の交換プログラムの中止がある！ことでした。

また、2020-21年度の安全対策は、2021-22年度でもベースになるので、今の状況では、青少年交換プログラム実施は難しいのではないかと報告

がありました。

次に2.「危機管理計画の立案」について説明がありました。2004年～2005年頃青少年交換プログラムで「ハラスメント」の問題が起きた。続いて「津波（災害）」「コロナ（パンデミック）」が起き全ての青少年やロータリアンが危機管理の対象となった。RIの危機に関する対象例は緊急事態タイプで、内乱や戦争まで含んでいるが、地域にあった作成を推奨されているので、日本では「自然災害」「パンデミック」について計画を策定します。

その他、次年度ローターアクトが青少年プログラムから外れることの問題点やRIJYEM旅行保険の拡充等の報告があり大変有意義な会議であった。

クラブ会長方針



郡山コスモスRC

会長 陰山 知秀

幹事 桑原 雅人

例会日:火曜日 12:30~13:30
場 所:郡山ビューホテル

新年度は新型コロナウイルス禍での幕開けとなりました。RIの戦略計画や優先事項と目的、年次目標そして地区の活動目標・運営方針と、この様な状況下での課題も多く、さらには日本のロータリー100周年という2世紀の幕開けという貴重な年度でもあります。

会員一丸となりオール郡山コスモスRCで不測の事態を乗り越えたいと思います。

今年度のクラブ運営方針は不測の事態だからこそ会員増強を第一に掲げ、会員基盤の向上、クラブ基盤の強化を図ります。そして「ロータリーの目的」、「四つのテスト」を実践すると共にRI



11月17日 ガバナー公式訪問

のテーマである「ロータリーは機会の扉を開く」を全会員がクラブ活動を通じて体感実現できるよう努力してまいります。特別な一年間を楽しみ積極的に行動し当クラブの記憶に残るような活動を実践したいと思います。



郡山西北RC

会長 佐久間 洋

幹事 渡部 龍治

例会日:水曜日 12:30~13:30
場 所:郡山ビューホテルアネックス

この度、2020~21年度の郡山西北ロータリークラブ会長となりました佐久間洋です。今年度は、未だ終息を見せない新型コロナウイルス問題で、今までにない「新しい例会」や「新しい親睦のあり方」等、課題の多い年になる事でしょう。しかし「明けぬ夜」はありません。私は、未来に希望と将来に活力を作り出し、生き生きとしたロータリー活動の推進こそが、会員相互の友情と結束を生んで行くと思っております。

今まで以上に親睦が必要な時代です。だからこそ、ロータリーを通じた奉仕の精神を見つめ直し、会員の皆様ご家族の皆様の調和を大切に活動を重ねてまいります。職業奉仕の大切さを今こそ実感しながら前に進まなければなりません。ロータリークラブ会員の会社、家族が元気で健やかである事こそが、困難な時代を生き抜く原動力です。

世界に目を向けても、様々な問題を抱えております。民族間の問題、人種の問題、国境等の問題、食糧問題等、問題を数えればきりがありません。しかし、問題は解決するために存在します。解決に向けて人類が一つになる「素晴らしい時代」とも言えます。

会員の皆様こそが、リーダーであり、この郡山西北ロータリークラブにとって、掛替のない存在です。今年のテーマを「親睦に全力!今こそロータリー」とさせていただきます。

今まで、諸先輩の培ってきた郡山西北ロータリークラブは親睦を常にテーマとしてまいりました。会員の皆様と共に成長し、研鑽できるように親睦を通じた事業に積極的に取り組んでまいります。

最後に、会員皆様の友情に心から感謝申し上げます。何



11月18日 ガバナー公式訪問

かと行き届かない点多々有る事と存じますが、ご協力の程よろしく申し上げます。会員皆様のご健勝と、郡山西北ロータリークラブの益々の発展をご祈念申し上げ、今年度に対する決意とお願いとさせていただきます。親睦に全力。

■2020~21年度 郡山西北ロータリークラブのテーマ
「親睦に全力!今こそロータリー」

■目標

1. 会員相互の親睦活動の実践
2. 会員拡大に向け実践
3. 公共福祉のイメージ向上への取組



郡山RC

会長 池田 達哉

幹事 佐藤 政弘

例会日:木曜日 12:30~13:30
場 所:郡山ビューホテルアネックス

日本のロータリーが100周年を迎える記念すべき今年度は、世界的な困難の中で始まりました。しかし、ロータリーの歯車は動きを止めることはありません。

方針として、私は、ロータリークラブは「個性の融合」である、と考えました。

揺るがない「85年の歴史と伝統」と、時代と共に常に進化する「新しいロータリー感覚」。伝統を守る事と、変化を起こす事、相反することが混在するのは、当クラブの「個性」でしょう。「歴史と伝統」に敬意を表し、先輩ロータリアンたちが大切にしてきた我クラブの精神を紡ぎながら「未来のクラブの姿」をイメージしていく事。それが「今」に課せられた使命と思っています。過去と未来が見事に「融合」しているクラブでありたいと思います。

また、およそ100名の会員の、それぞれの



11月19日 ガバナー公式訪問

職業とその人生経験によって得られた「人生観」や「倫理観」、「奉仕への行動」は、職業人として、また人としての「個性」であります。クラブの中で様々な個性が「融合」する事で、新しい歯車を作り出すのです。そしてまさに、石黒ガバナーの地区テーマである Participate&Enjoy ROTARY、「仲間と共にロータリーを楽しむ」事こそが、その歯車を動かす原動力ではないでしょうか。

IAC/RAC紹介

■ 松韻学園福島高等学校インターアクトクラブ

認証年1966

提唱クラブ 福島北RC

本校インターアクトクラブは、創立54年を迎える歴史のあるクラブです。今年、新型コロナウイルスの影響により、例年に比べ活動機会が減ってしまいました。しかし、このようなコロナ禍の中でも感染対策を行いながら校内での移動献血車による献血の実施や海外支援の募金、校外では駅周辺の清掃活動を中心に行いました。また、スポンサーロータリークラブとの合同活動として、桜づつみ公園の清掃や米山記念奨学生張巧玉さんによる講演会を実施しました。講演会では、夢を追う大切さを学ぶことができました。来年がどのようなか分かりませんが、今年行ってきた活動経験を生かして、さらなる活動に努めていきたいと思います。



■ 磐城農業高等学校インターアクトクラブ

認証年1969

提唱クラブ いわき勿来RC

今年度、磐城農業高等学校IAC部員は現在39名が在籍しており、毎週水曜日に例会を開いています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年、各団体から来るボランティアの募集がほぼ中止となり、本来の活動ができていない状況です。10月下旬に学校内で赤い羽根共同募金協力願いの活動はできましたが、土日に施設や街頭で活発に行っていた活動の機会はなくなってしまいました。それで部員たちは新たな活動をしようと、2学期からエコキャップ運動を学校内で取り組み始めました。いわき勿来RC様からご協力いただいている活動費から各教室分のごみ箱を購入し、全校生に協力を呼び掛けています。



■ 福島東陵高等学校インターアクトクラブ

認証年1971

提唱クラブ 福島RC

私たち福島東陵高等学校IACは、福島RCのご支援の下、新型コロナ禍の中で活動が制限されることも多くありますが、この状況下でもできる事を探して日々活動しています。今年度は校内での活動を中心に取り組んでいます。現在は主に募金活動をしています。福島RCの方に、日本ではあまり報道されなかったフィリピンの台風の現状と悲惨な被害状況を伝えて頂きました。クラブとしてはポスターを作って校内で被害を訴え、少しでも多くの支援を被災地に届けられればと思っています。



■ 尚志高等学校インターアクトクラブ

認証年1982

提唱クラブ 郡山南RC

当クラブの提唱により、1982年6月6日日本女子工業高校（現尚志高等学校）インターアクトクラブ創立総会開催。同年9月12日RIの認証証が伝達され、正式に尚志高等学校インターアクトクラブが発足しました。以来今日まで38年余にわたり、当クラブは尚志高等学校IACの活動を見守り続け、また、下記記載の様々な奉仕活動を共に実践して参りました。

- ・ 合同例会を毎年開催
- ・ 街頭ポリオ募金活動
- ・ 猪苗代湖水草回収活動
- ・ 尚志高等学校IAC例会、IAC世界理解研修会等への講師の派遣と運営協力
- ・ 尚志高等学校文化祭における、IAC活動のPR
- ・ 尚志高等学校にて就職講演会の実施
- ・ 交流キャンプ大会の実践
- ・ 尚志高等学校各学校行事への参加
- ・ 尚志高等学校IACの周年記念行事の運営協力



■ 桜の聖母短期大学ミリアムローターアクトクラブ

認証年1993

提唱クラブ 福島北RC

創立以来福島北RC様からの御支援を受け、本学クラブの活動も充実してきました。しかし2020年COVID-19禍で4月信夫山公園清掃活動の中止を余儀なくされ、本学も10月よりクラブ活動を開始となりました。with coronaの環境下で、2年生は会長と1年生25名が新たにスタートし、漸く10月24日（土）に荒川桜づつみ公園清掃活動（写真）を始めました。活動を通じてボランティア活動の意味、自らの意思を考える機会を頂きました。今後もwith coronaの生活で、福島北RCと共に本学学生の学び及び成長する力を期待しております。



活動はマスクとソーシャルディスタンス

■ 本宮高等学校JRCインターアクト部

認証年1997

提唱クラブ 本宮RC

私たちインターアクト部は、今回のコロナ禍の状況で、昨年度まで実施していた子ども食堂や保育園でのボランティア活動ができなくなり、何かできることはないかと考えました。その後、子どもたちに提供するためのマスクの材料が手に入ることを知り、部員全員でマスク作りに取り組んできました。慣れない作業で苦労することもありましたが、ようやく完成させることができました。もうすぐ本宮第2保育所の子どもたちに手渡すことができると思うと、わくわくします。

他の活動としては学校周辺のゴミ拾いなどを行っています。が、今後も誰かの役に立つ活動を模索して、積極的に活動していきたいと思っています。



■ 福島成蹊学園高等学校インターアクトクラブ

認証年2004

提唱クラブ 福島南RC

本校IACクラブは福島南ロータリークラブにご支援して頂き、現在57名の部員で活動しております。これまでの活動の継続で、保育園交流、絵本を点訳して視覚支援学校に寄付などの活動に加え、新たに昨年度メキシコからのロータリー交換留学生のホストファミリーをして下さったカトウファームに毎月お世話になって、農業ボランティアの活動も始めました。毎月1回の例会では、ローターアンの方々にはスピーチして頂き部員は様々な学びを生かし、今年も続々と進路達成しているので、ロータリーの皆様には本当に感謝しております。



■ 国際アート&デザイン専門学校インターアクトクラブ

認証年2013

提唱クラブ 福島しんたつRC

2013年5月28日国際アート&デザイン大学校高等課程FSGインターアクトクラブを提唱し、早くも7年が過ぎました。FSGIAC設立当初から、当クラブは定期的に学校へ訪問して卓話を行い、クリスマス例会にはインターアクターのメンバーを招いて合同例会を行ってまいりました。共同奉仕活動としては、福島市内の児童養護施設の草刈りや猪苗代湖の水草回収を行ってまいりましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で残念ながら合同奉仕活動を行っていません。しかしながら、お互いフェースブックでの繋がりをもち、フォローをしております。新型コロナウイルスの影響が落ち着いたら合同で清掃活動を行う予定です。



■ 田村市立船引中学校インターアクトクラブ

認証年2013

提唱クラブ 船引IRC

船引中学校インターアクトクラブとロータリアンの共同作業の1つに花苗の植え付け作業があります。品種は主にサルビアとマリーゴールドで、生徒の通用口や校舎の周辺に植え付けます。インターアクトのメンバーの他にJRCの会員や希望する一般生徒との共同作業となります。植えられた花は夏から晩秋まで咲き続け、生徒の目を和ませています。

また、校内行事の合間を見つけて、町内の清掃活動をロータリアンと共に実施しています。2～3班に分かれ、地域の方々への挨拶運動を兼ねながら道路脇のゴミ拾いを実施しています。

4月の学期初めに合わせて小学校までで使用済みとなった縦笛等の拠出を呼びかけ、回収する活動を展開しています。収集された楽器はロータリアンが消毒・洗浄した後、アフリカのルワンダ共和国の子ども達に寄贈しています。



■ 福島中央ローターアクトクラブ

認証年2014

提唱クラブ 福島中央RC

私たちは福島中央ローターアクトクラブです。当クラブは今年で発足6年目となります。会員は8名と少ないながらも、密集…多くの人が集まり・親密…交際を深め団結し・濃密…中身の濃い活動に取り組むという三密を図り、コロナ禍においてできる限りの活動に取り組んでいます。

例会については毎月第二・第三水曜日に対面方式とZoomによるオンライン方式にて行っており、その中で持ち回り制一人1つ企画を持ち込み、会員間でのコミュニケーションの場も設けています。

その他の活動として9月12日には結・ゆいフェスタへの出店、10月24日には提唱クラブである福島中央ロータリークラブの皆様と合同で猪苗代湖の水草清掃ボランティアに参加しました。



■ 田島高等学校インターアクトクラブ

認証年2015

提唱クラブ 田島RC

2020年は新型コロナウイルスの影響を受け、学校における諸活動が延期、中止となるなど不自由な年でした。インターアクトクラブの地区行事である年次大会などの開催が叶わず、田島ロータリークラブとの共同活動もできませんでした。

活動が限られる中、学校周辺の清掃活動を月一回のペースで行いました。クラブの人数は14名と少なめですが、ときどきクラブ員でない生徒も活動に協力してくれました。

コロナ禍の中でも、地域のために自分たちができる範囲で活動できたことは、将来自分の成長につながるのではないかと思います。次年度は少しでも多く活動ができることを願っています。



■ 田村高等学校インターアクトクラブ

認証年2015

提唱クラブ 三春RC

私たち田村高等学校インターアクトクラブは、1年生3名、2年生6名、計9名で活動しています。私たちは三春RCのご支援のもと、ボランティア活動や各研修会への参加などを行っています。今年度は新型コロナウイルスの影響で大きく活動が制限されてしまいました。

しかし、自分たちに今できることは何かを考え、活動を行っています。

限られた時間や内容で、三春町通所介護事業所、三春町敬老園、ニチイキッズ保育園でボランティア活動を行っています。

ボランティア活動を通して私たちは、人の役に立てるといった喜びや、様々な方々とのコミュニケーション、想像力を持つことの大切さを学びました。

これからも、できる活動を続けていきたいです。



RC会員 親子ロータリアンに聞く

会社PR

昭和30年創業、郡山観光交通株式会社、郡山タクシーからはじまって、三春、白河など地域を広げ、業種はバス、介護、旅行、トラック関係、セブンイレブンと会長のバイタリティーで広げ拡大、山あり谷ありの中、地域の元気が基本です。ロータリーの皆さまとの縁を生かしながら、皆さまと共に地域を元気にして企業として長く頑張っていきたいと思っています。

山口タクシーグループ本部 会長
2020-21年度会長 山口 進 (三春RC)
山口タクシーグループ 郡山観光運輸(株)
代表取締役 山口松之進 (郡山RC)

石黒 会長のロータリーに入会されたきっかけをお聞かせ下さい。

山口(父) 三春のタクシー会社を譲り受けました。三春町には身内が一人もい

ませんのでロータリーに入れば知人、友人ができるのではないかと思入会しました。

石黒 お入りになってかなり人脈が広がりましたか？

山口(父) そうですね。三春の町でお世話になるのに三春の人に知り合いがないのではダメだと考えました。

石黒 わかりました。今度は社長のほうですが、何年後の入会になるんですか？

山口(息子) 私は10年になります。震災の年です。

石黒 ご自身は青年会議所(JC)で活躍されていましたね。

山口(息子) JC卒業後タイミングよく郡山ロータリーさんに声をかけていただきました。

石黒 その時会長からロータリークラブの様子など聞いていましたか？

山口(父) ロータリーに関してはほとんど会話はなかったですね。

石黒 入会前のイメージと入会後の感覚的に違うとか、ここは素晴らしいと思うところとかあり

ますか？

山口(息子) JCでは付き合いなかった少し上の世代の皆さんがロータリークラブでお元気で活躍されていたので、そんな先輩方と普通にしゃべれる感じでした。入る前は敷居が高いかなと思いましたが、先輩方がフラットにいろいろ声をかけていいということで家庭的な感じがしました。

石黒 会長、社長ともとにかく幅広いお付き合いができていくということですね。

石黒 そうすると会長のほうは息子さん世代と付き合いが広がって行き、社長のほうは親父さん世代と付き合いが広がっていったという事ですね。

石黒 ロータリーに入会して会長は約35年、社長は約10年ですが、入会して何を学びましたか？

山口(父) やっぱり人間関係がスムーズだったということ。それと三春町そのものを知るきっかけになった事、地元との理解を深めるためにはロータリーに入ったのは正解だったと認識しています。また、奉仕の理念を具現化すべく努力する事を日々考えています。

石黒 社長はどうですか？

山口(息子) ロータリーの受け入れてくれる度量の広さを感じています。また、世代間の違いの認識を深めたと感じています。

石黒 社長は三春のロータリーのお話は聞きますか？

山口(息子) 三春における人間関係は私はあまり深くないので会長を通じていろんな方々のお話が聞けるといのは、やはり地域の理解を深める、間接的に機会になっているということではありがたいなと思っています。

石黒 会長からみて地元郡山で頑張っている社長をどの様に、ご覧になっていますか？

山口(父) すごくいいと思いますね。ロータリアンの会員数、構成メンバーは、異業種含めて広いですからね。県内2,250名ですか？これが全員お

友達、同窓生そんなイメージで付き合いますからロータリアンとしては確かに経済的には負担があるかもしれませんが、それ以上に人間関係が広がると思い



山口 進会員

ます。コミュニケーションをとるチャンスはすごく多いですね。地元貢献という意味で会長を務めています。責任も有るので一生懸命頑張っています。先日は品川郡山市長に、三春のかんのやゆべし社長に卓話して頂きました。とに角行動する、活動するロータリーを実践しています。

石黒 すばらしいです。社長からみていかがですか？

山口(息子) 元気いっぱい、うちの父はもともとこんな感じで社長時代から動いてますし、これが元気の源だと思っているので私は制限しません。2年前にロータリーの会長を言われたと。私は年齢の心配はあったんですけどやっぱり頼られるということは、信頼の証なので私もロータリアンでそれをやるなという権利はないし、それは逆にやってもらったほうが良いと考えます。ちょっと心配していましたが想像以上に元気いっぱいやっていたのは、家族としてもありがたい事だと思います。

そういう場を提供していただいているロータリーに感謝したいなと思います。

石黒 基本的にクラブ会長の姿がそのままクラブ投影されますね。

今回は親子ロータリアンというキーワードです。こんな部分が良い、おすすめだという事があればお願いします。

山口(父) 基本的に共通の話題があるという事。ロータリアンの精神も共通している。私の行動もロータリアンの精神でもともと実行してきたつもりです。人間関係も二人のロータリアン、また甥っ子、姪っ子もいますが私の生活はロータリー中心になっているんです。やはり人的資源というか遠

慮なく会話ができるそういうチャンスが多くなっている。とにかく共通の話題があるという事はすごくいいと思いますね。

石黒 では社長のほうから。

山口(息子) ほんとに同じです。

石黒 最後にお互いに一言ずつエールをお願いします。

山口(父) 私自身の経験からいうと社長を交代して、後継者がいるということの素晴らしさを体験しました。それはロータリーも同じだと思います。

石黒 では社長から会長へ

山口(息子) 会長という場を与えていただいてさらに元気になっているような感じですのでやっぱり求められるというのはありがたいことですし、全う頂くことが健康の源だと思います。

石黒 山口社長がこういう立派な親父さんがおいでで幸せだと思います。私たちも同じバッジをつけているロータリーファミリーですので自分で遠慮することなく心開いて接することによってこういう新たな接点も頂戴したいと思います。

山口(父) 県内だけでも2千数百名、ロータリアンだけの信頼関係は同じ釜の飯を食ったというかそういうイメージなんですね。すごい事だと思いますよ。

石黒 本当にありがとうございました。



山口松之進会員



米山奨学生とカウンセラーとの交流

■奨学生

スレスタ・ササンカさん【会津大学】

■カウンセラー

鈴木 朝男

【喜多方RC】

今年2月8日から3月10日までの休暇を大学の許可を得、久しぶりの母国（ネパール）に帰ることになり、この機会に私にご両親とお会いするとともに、ネパールという国も知りたい。この訪問に当時、青少年交換委員会委員長の佐藤正道さんも賛同され、二人で同行しました。ササンカ君の自宅を訪れ、御両親、妹、親せきの方々とお会いし、更にお母さんの手造りネパール料理をご馳走になるなどして、有意義な一時を過ごしました。

翌日は、ササンカ君の曾祖父が60年前に設立した幼稚園から高校までのコミュニティスクールを訪問し、そこで地元ロータリアンとバナーなどを交換し交流を深め、更に教育現場を視察しました。学校施設及び教育環境も整備されておらず、ササンカ君も共に同行し、教科書、文房具はじ

め、制服、鞆、靴、スポーツ用品など全て不足しています、と話していました。日本でしっかり勉強し、ネパールの大学の教授になり、日本の大学で学んだことを生かし教育者になりたい、と日頃から私に話していました。



現在（9月末）新型コロナウイルスのため、ロックダウン及び国際線閉鎖の為、出国できずにおります。



■奨学生

李 岳さん

【福島大学】

■カウンセラー

佐藤喜市郎

【飯坂RC】

米山奨学生 李岳君との交流は、新型コロナウイルス感染問題で、飯坂RCでは、2ヶ月間の例会休会を余儀なくされたので、奨学金を岳君に届けることから始まりまし



た。特に岳君は福島大学生で福大からは感染者も出たので、岳君自体も用心し、福大へ届けに行っても長居はお互いに避けたお付き合いになった。

本来であれば例会に出席をして歓迎会を催し、本人の考えや、人柄を確認し、それに合った支援をして行く所であるが、それが出来ずに2ヶ月余り過ぎてしまった。米山奨学会で選んだ学生なので間違いない人材と信じ、お付き合いする事していた。6月に入り例会も再開するようになり、岳君も出席してくれた。

思った通り、気は優しく力持ちで金太郎の様な人物で安心した。

特に9月5日に実施された安達太良登山の時には、小生の持病の足の腱鞘炎が起き、米山記念奨学委員の方や、岳君にも多大な迷惑をお掛けしました。その時に岳君は最後まで付き添ってくれた。

9月に入り岳君から福大の大学院に合格の知らせが入り、それはお目出たい事とクラブの会員方々も喜んでくれた。そんな折、岳君から米山奨学金の一年の延長の依頼があり、阿部委員長にお伺いしたら、担当クラブで奨学金の半額負担する事によって、次年度の奨学生の採用試験を受ける条件になるとの事を受け、理事会に計った所、理事の賛同を受け通りました。後は岳君の能力を十分発揮して合格するのを私も含めクラブ会員の願いであります。今後はより親交を深めて支援をして行きたいと考えています。



■奨学生

Chaw・nandar・htunさん

【国際情報工科自動車大学校・専修課程・自動車工学】

■カウンセラー

阿部克弘

【白河西RC】

白河西RCの阿部克弘です。初めて米山記念奨学生のカウンセラーになりミャンマー出身のチョー・ナンダー・トゥンさんの担当です。福島県郡山市の国際情報工科自動車学校で女性整備士を目指して勉強中で、将来は自国で自動車整備会社の経営が夢のとてもチャーミングな女性です。そんなチョウさんと家族の交流を紹介します。コロナの影響で初めて逢ったのは5月14日（木）クラブの例会でした。女房の理解もあり、その後6月14日（日）はわが家に来て貰い南湖公園・南湖神社・白河小峰城などを観光。ラーメン



●令和2年8月20日（木曜日）
白河市（果樹農園／桃狩り）
（Chawさん）

ン好きなチョウさんは白河ラーメン発祥のトラ食堂で完食。7月5日（日）はチョウさんの自宅アパートに家族（愛犬含）が招待されミャンマー料理をご馳走になりとても美味しかったです。8月20日（木）は例会前に白河市の果樹農園で桃狩りを初体験しました。9月21日（月）

は私の古里の福島市で円盤餃子を食し、飯坂温泉では足湯に浸かりアンナ・ガーデンを散策しました。これからも交流を深め良い思い出を作りたいと思います。

※詳しくは私のFacebookにChawさんとの交流を掲載しています。

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100045133478426>



●令和2年9月21日（月曜日）
福島市（アンナ・ガーデン）
（阿部克弘・Chawさん・愛犬ホヌ・阿部まゆ美）

■奨学生

グエン・テイ・クエンさん

【国際ビジネス公務員大学校】

■カウンセラー

高田藤太郎

【郡山東RC】

クエンさんに初めて会いましたのは、令和2年5月12日（火）の奨学生支給、バッチの交付、確認書の確認等であったが、その時クエンさんに何故日本に興味を持ち、来たのですかと尋ねましたら、ベトナムで日本人の優しい心に触れ、是非日本に行って、もっと日本を理解し、将来日本とベトナムの交流の架け橋となる仕事をしたいと勇気を持って来ましたとのことであった。

日本に来て見て、日本の風景の良さ、名所旧跡の多さ、そして日本人の友達が出来ると従え、おもてなしの心が理解できるようになり、益々ベト

ナムの人達を日本に多く呼ぶ仕事をしたいとの念が強くなったとのこと。米山奨学生に相応しい学生として、勉学に励んでいると感じます。

毎日月初めの例会に参加していますが、12時30分開始の30分前には会場に来て、会員との交流をし、またベトナムの服装を着用のこともあり、和やかに会員との交流が行われています。



■奨学生

マーク・オグボド・イケチュクさん
【会津大学】

■カウンセラー

星 宏一 【喜多方中央RC】

マーク君はナイジェリアから海外応募枠に合格し、昨年4月に日本に来たばかりです。会津大学の博士課程で人間の脳の構造を模したコンピューターチップの研究をしており、日本語習得以外に日本文化の吸収にも意欲的に取り組んでいます。一番気に入っている日本の食べ物は蕎麦で、当

クラブ会員が経営する山都「萬長」のざる蕎麦は大好物ですが、刺身、馬刺しなど生の食品は食べられません。昨今のコロナ禍でマーク君と飲食を共にする機会が減ってしまったので、佐藤会長の発案で日本の庶民文化の代表でもあるお好み焼を体験してもらうことになりました。7月22日のお昼時に会長、幹事、私との4人で会津若松市内のお店に行き、そこで混ぜたり、焼いたり、返したりの体験を本当に楽しんでくれました。9月には彼の「居酒屋デビュー」を果たすべく準備を進めていましたが、あいにく会津地方でも感染者が出たため延期せざるを得なくなったのが少し残念です。



■奨学生 李 芳さん【福島大学】

■カウンセラー 佐伯 裕一【相馬RC】

相馬RCは、コロナの影響で例会が5月一杯中止となり、奨学金を渡すために、夫婦で4月末に福島で李さんと初顔合わせしました。

6月から例会が再開され、最初の例会で初めて李さんを会員に紹介出来て安堵しましたが、コロナ問題で李さんの夜間例会への参加は不透明でした。

そのために、李さんと親睦を深めようと、自宅で妻と李さんと一緒に料理をして、私が会長の時の幹事だった菊地夫妻にも来ていただいて、3密を避けながら食事を楽しみました。

その際、李さんには日本の伝統的な装いである浴衣を着せて楽しみました。

また、李さんは海を見たのが1回しかないといふので、8月は例会とは別に相馬に来てもらい、相馬、新地、磯浜の海巡りをして、最後に新地町の釣師浜で水遊びをしました。李さんと家内が大変楽しそうに波打ち際で遊んでいるのを見て私自身が大変癒されました。

翌日は、李さんをいわき市に連れて行き、みさき公園や、いわき美術館の「リサ・ラーソン展」

を楽しんだ後、李さんが大好きだと言うお寿司を食べて帰ってきました。

その他では、お茶をたてたり、クラフトテープで籠を編んだり、限られた時間で一緒に楽しみました。

今後は、コロナ問題が収まり相馬RCの夜間例会で李さんとの親睦が図れることを祈っています。



職業奉仕委員会

職業奉仕委員会副委員長

「2016年規定審議会は標準ロータリークラブ定款第6条2を改訂 これまで職業奉仕に対する会員の役割が大きく変わりました。」

「職業奉仕」って何ですか？と聞かれたら、あなたは一言で答えられますか？私はこう答えます。「奉仕に学び、職業で奉仕する」まずは、ロータリーの奉仕活動に参加する中で、「奉仕の理念」を学びます。私達ロータリアンは、奉仕活動の手続きや方法を学ぶことが最終目的ではなく、奉仕をして終了でもありません。奉仕を学ぶのではなく、奉仕活動に参加し活動する中で、奉仕の心、奉仕の理念を学ぶことが究極の目的なのです。「奉仕を学ぶ」のではなく、「奉仕に学ぶ」。これがロータリアンの職業奉仕の第1歩です。次に、そこで学んだ「奉仕の心」「奉仕の理念」「四つのテスト」を道標として、職業を通じて行動します。それを自分の職場で、あるいはクラブにおいて、「職業で」世の中に貢献し、奉仕するのです。「奉仕に学び、職業で奉仕する」これぞ「職業奉仕」なのです。他の慈善団体と一線を画し、ロータリーをロータリーたらしめる真髄、そして110年以上の長きにわたりロータリーを支え続けている根幹理念なのです。

2016年の規定審議会では、『例会運営の柔軟性を広く認めたことが大きくクローズアップされ、標準ロータリークラブ定款第6条2の職業奉仕の改定は残念ながらあまり話題にはなりません。第6条2『職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念にし

齋藤 純一（会津若松西RC）



たがって自分自身を律し事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。』2016年規定審議会の改正で、太字の部分が増加されました。前段部分はこれまでの「内向き職業奉仕」ですが、追加された部分はクラブが対外的活動として行う職業奉仕の実践の形、いわば「外向き職業奉仕」を示しています。これまでは内向き職業奉仕である個人奉仕（I Serve）という考えが主流であったものが、これからは外向き職業奉仕（We Serve）も定款に規定されました。①『自己の職業上の手腕を』②『社会の問題やニーズに役立てるために』③『クラブが開発したプロジェクトに応える』

つまり、会員の職業上の技術・経験・ノウハウ・スキルなどを活用して、社会の問題やニーズに応じて役立てる。それをクラブのプロジェクトとして実施する。これもまた、職業で世の中に貢献し奉仕するということであり、クラブが行う対外的な職業奉仕の実践だと言うのです。こうして標準クラブ定款に「外向き職業奉仕」の要件が明記されたことで、これまでモヤモヤしていた、「クラブで行う職業奉仕って何？」の答えが非常にわかりやすくスッキリと整理出来たと思います。

参考資料

わかりやすい職業奉仕、職業奉仕とはなにか、
超入門 職業奉仕の入口

物故会員



物故会員

謹んでお悔やみ
申し上げます。



米山記念奨学会ご寄付の表彰者



新会員紹介

■中央分区
郡山RC
佐久間盛徳
■入会日 2020年11月12日入会
■職業分類 歯科医
■勤務先 (医)佐久間歯科医院

■中央分区
郡山南RC
穴戸 健一
■入会日 2020年11月5日入会
■職業分類 保険代理店
■勤務先 有限会社シンプルプラン

■県北第一分区
福島RC
佐藤 稔
■入会日 2020年11月12日入会
■職業分類 地方銀行
■勤務先 東邦銀行

■県北第一分区
福島南RC
八島 隆志
■入会日 2020年11月4日入会
■職業分類 銀行業
■勤務先 福島信用金庫 南支店

■会津分区
喜多方RC
江花 圭司
■入会日 2020年11月17日入会
■職業分類 立法機関
■勤務先 福島県議会

■県南分区
白河西RC
増子 国安
■入会日 2020年11月13日入会
■職業分類 リース業
■勤務先 株式会社共和建商

■相双分区
原町RC
目黒 桂一
■入会日 2020年11月5日入会
■職業分類 電気事業
■勤務先 東北電力ネットワーク相双電力センター

■相双分区
相馬RC
柴富 健男
■入会日 2020年11月10日入会
■職業分類 倉庫・運送業
■勤務先 相馬エネルギーサポート株式会社

■県中分区
本宮RC
伊豆 伸一
■入会日 2020年11月1日入会
■職業分類 建設資材卸業
■勤務先 株柳屋

文庫通信 (384号)

ロータリー文庫通信384号 2020年11月 手続要覧を読む

手続要覧の日本語版は、宮脇富パストガバナーが「Manual of Procedure」を「手続要覧」と訳され、ロータリーの友1955年2月に掲載されたのが最初だそうです（詳細は下記2編を参照）。最初の英語版は定かではありませんが、1920年版から収録されています。手続要覧も少なくとも100年の歴史があるということで、国際ロータリーの歴史と共に手続要覧の構成、内容も変化してきました。何のため、誰のためのものであるのか、という視点で読み比べることも一興です。例えば、構成面で1984年、2013年の手続要覧が大幅に変更されています。変更の理由には、興味深いそれなりの歴史的背景があるようです。

手続要覧を読む	重田政信 高崎北R.C.	友：2006・9月	1p*
手続要覧（手続要覧）日本語版	手島知健・宮脇 富訳	友：1955～1956	83p*
ロータリーの歴史年表（2020年6月改訂版）	諏訪昭登 広島西R.C.	2020	12p*
国際ロータリーの挑戦	松宮 剛 D.2820地区大会記念誌	2020	6p*
異論・正論 ロータリーを語ろう	久野 薫 神戸東R.C.	2020	128p*
ロータリー・違いをもたらそう ROTARY One Difference	江崎柳節 小牧R.C.	2020	137p*
Guy Gundakerから学ぶロータリー -改訂版-			
「A Talking Knowledge of Rotary」の世界-	鈴木一作 寒河江R.C.	2020	62p*



ロータリー文庫ウェブサイト
文献の閲覧は会員限定になります

ロータリー文庫検索サイトで文献を閲覧するには、ログインパスワードが必要になります。利用方法は、①検索画面で文献を検索、②検索結果から閲覧したい文献の項目「※」をクリック。該当PDFのリストが表示されます。③「PDF」リンクをクリック。ログイン画面が表示されます。④ユーザー名とパスワードを入力すると、PDFが閲覧できます。ユーザー名、パスワードは各ガバナー事務所を通じてクラブに送付いたしております。

・前回に続き、RI理事会議事録2020年4月英語版、6月英語版を文庫HPにUPしました。日本語版（私訳未公開）の閲覧をご希望の方は、ロータリー文庫までご連絡ください。

上記 ※印はデジタル化されている資料です。

11月会員数報告

分区	クラブ	7/1現在会員数 (内女性)	当月開始会員数 (内女性)	当月入会者数 (内女性)	当月退会者数 (内女性)	当月未会員数 (内女性)	例会 回数	出席率(%) (参考)	My ROTARY 登録率(11/30)
中央 分区	郡山	98 (0)	99 (0)	1 (0)	0 (0)	100 (0)	4	71.73 %	18.00 %
	郡山西	39 (0)	39 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (0)	3	74.36 %	79.49 %
	郡山東	33 (3)	33 (3)	0 (0)	0 (0)	33 (3)	2	77.27 %	87.88 %
	郡山南	85 (12)	85 (12)	1 (0)	0 (0)	86 (12)	4	94.98 %	81.40 %
	郡山北	41 (1)	42 (1)	0 (0)	0 (0)	42 (1)	3	73.68 %	47.62 %
	郡山西北	44 (1)	44 (1)	0 (0)	1 (0)	43 (1)	4	84.34 %	27.91 %
	郡山安積	39 (3)	50 (3)	0 (0)	0 (0)	50 (3)	3	78.00 %	26.00 %
	郡山アーバン	30 (14)	30 (14)	0 (0)	0 (0)	30 (14)	4	75.44 %	70.00 %
郡山コスモス	19 (4)	19 (4)	0 (0)	0 (0)	19 (4)	2	76.32 %	84.21 %	
福島グローバル	19 (2)	19 (2)	0 (0)	0 (0)	19 (2)	2	36.11 %	78.95 %	
中央分区小計		447 (40)	460 (40)	2 (0)	1 (0)	461 (40)		74.22 %	60.15 %
県北 第一分区	福島	90 (5)	94 (7)	1 (0)	1 (0)	94 (7)	3	80.15 %	100.00 %
	二本松	36 (2)	37 (4)	0 (0)	0 (0)	37 (4)	2	61.43 %	65.79 %
	福島南	73 (6)	72 (6)	1 (0)	0 (0)	73 (6)	4	76.37 %	72.60 %
	福島西	22 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	3	83.33 %	65.22 %
	福島中央	51 (3)	54 (4)	0 (0)	0 (0)	54 (4)	4	59.42 %	96.30 %
	二本松あだたら	35 (5)	36 (6)	0 (0)	0 (0)	36 (6)	3	69.44 %	97.22 %
福島21	45 (4)	46 (5)	0 (0)	0 (0)	46 (5)	3	96.55 %	97.83 %	
県北第一分区小計		352 (27)	362 (34)	2 (0)	1 (0)	363 (34)		75.24 %	84.99 %
会津 分区	会津若松	51 (0)	54 (0)	0 (0)	0 (0)	54 (0)	4	75.93 %	33.33 %
	喜多方	44 (0)	48 (0)	1 (0)	1 (0)	48 (0)	3	67.13 %	79.17 %
	会津若松西	20 (0)	22 (0)	0 (0)	0 (0)	22 (0)	4	93.18 %	63.64 %
	猪苗代	27 (4)	27 (4)	0 (0)	0 (0)	27 (4)	3	60.87 %	96.30 %
	会津坂下	32 (0)	32 (0)	0 (0)	0 (0)	32 (0)	4	89.06 %	75.00 %
	田島	37 (0)	37 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (0)	3	67.57 %	64.86 %
	会津若松南	17 (1)	18 (1)	0 (0)	1 (0)	17 (1)	3	85.19 %	27.78 %
	会津若松城南	26 (0)	26 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (0)	3	61.19 %	38.46 %
	喜多方中央	31 (1)	32 (1)	0 (0)	0 (0)	32 (1)	4	80.00 %	75.00 %
会津若松中央	21 (8)	22 (8)	0 (0)	0 (0)	22 (8)	4	81.82 %	90.91 %	
会津分区小計		306 (14)	318 (14)	1 (0)	2 (0)	317 (14)		76.19 %	64.45 %
いわき 分区	いわき平	48 (0)	51 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (0)	4	58.82 %	17.65 %
	いわき小名浜	68 (0)	71 (0)	0 (0)	0 (0)	71 (0)	2	70.90 %	25.35 %
	いわき勿来	46 (0)	46 (0)	0 (0)	0 (0)	46 (0)	3	75.00 %	28.26 %
	いわき内郷	18 (1)	21 (1)	0 (0)	0 (0)	21 (1)	3	91.53 %	28.57 %
	いわき常磐	17 (0)	16 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (0)	2	75.00 %	37.50 %
	いわき平東	43 (2)	44 (2)	0 (0)	0 (0)	44 (2)	3	68.42 %	95.45 %
	いわき四倉	11 (3)	11 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (3)	2	54.55 %	27.00 %
	いわき平中央	31 (4)	32 (4)	0 (0)	0 (0)	32 (4)	2	64.06 %	28.27 %
いわき桜	15 (15)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	3	84.44 %	86.67 %	
いわき分区小計		297 (25)	307 (25)	0 (0)	0 (0)	307 (25)		71.41 %	41.64 %
県北 第二分区	飯坂	40 (4)	39 (4)	0 (0)	0 (0)	39 (4)	4	87.18 %	100.00 %
	福島北	53 (0)	54 (0)	0 (0)	0 (0)	54 (0)	3	74.84 %	98.15 %
	保原	26 (1)	26 (1)	0 (0)	0 (0)	26 (1)	2	78.85 %	65.38 %
	福島東	37 (3)	40 (3)	0 (0)	0 (0)	40 (3)	4	80.00 %	80.00 %
	梁川	16 (1)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	3	68.63 %	70.59 %
	川俣	33 (1)	35 (1)	0 (0)	0 (0)	35 (1)	4	63.97 %	68.57 %
だて西	8 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		%	%	
福島しんたつ	26 (3)	24 (3)	1 (0)	0 (0)	25 (3)	4	59.38 %	64.00 %	
県北第二分区小計		239 (15)	235 (14)	1 (0)	0 (0)	236 (14)		73.26 %	78.10 %
県南 分区	白河	43 (3)	42 (3)	0 (0)	0 (0)	42 (3)	3	67.77 %	35.71 %
	須賀川	42 (0)	44 (0)	0 (0)	0 (0)	44 (0)	4	100.00 %	11.36 %
	東白川	10 (0)	11 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)	3	90.91 %	30.00 %
	石川	36 (1)	36 (1)	0 (0)	0 (0)	36 (1)	4	100.00 %	25.00 %
	矢吹	13 (1)	12 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (1)	3	75.00 %	25.00 %
	白河西	58 (4)	59 (4)	1 (0)	0 (0)	60 (4)	4	75.69 %	81.67 %
	須賀川ぼたん	12 (0)	13 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (0)	4	100.00 %	46.15 %
白河南	17 (0)	17 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (0)	4	54.17 %	11.76 %	
県南分区小計		231 (9)	234 (9)	1 (0)	0 (0)	235 (9)		82.94 %	33.33 %
相双 分区	原町	25 (0)	24 (0)	1 (0)	1 (0)	24 (0)	2	62.49 %	16.67 %
	相馬	28 (3)	31 (5)	1 (0)	0 (0)	32 (5)	2	70.31 %	25.81 %
	浪江	44 (2)	46 (3)	0 (0)	0 (0)	46 (3)	2	48.91 %	23.91 %
	富岡	36 (3)	39 (4)	0 (0)	0 (0)	39 (4)	2	82.86 %	33.33 %
	原町中央	37 (6)	39 (6)	0 (0)	0 (0)	39 (6)	2	50.00 %	18.42 %
南相馬	28 (4)	28 (4)	0 (0)	0 (0)	28 (4)	2	100.00 %	92.86 %	
相双分区小計		198 (18)	207 (22)	2 (0)	1 (0)	208 (22)		69.10 %	35.17 %
県中 分区	本宮	34 (5)	34 (5)	1 (0)	0 (0)	35 (5)	4	60.16 %	37.14 %
	三春	23 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	3	65.22 %	72.73 %
	常葉	22 (0)	22 (0)	0 (0)	0 (0)	22 (0)	2	86.36 %	68.18 %
	滝根	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2	100.00 %	100.00 %
	船引	47 (3)	47 (3)	0 (0)	0 (0)	47 (3)	3	68.80 %	59.57 %
小野	15 (0)	15 (0)	4 (1)	0 (0)	19 (1)	3	73.58 %	26.67 %	
県中分区小計		143 (10)	143 (10)	5 (1)	0 (0)	148 (11)		75.69 %	60.72 %
2530地区合計		2,213 (158)	2,266 (168)	14 (1)	5 (0)	2,275 (169)		74.76 %	57.32 %

※7/1現在会員数には7/1入会者7名を含む。



ロータリーは機会の扉を開く

地区大会

4月4日 2021年
日

会場: ホテルハマツ・郡山ビューホテル

※詳細については、後日ご連絡致します。

地区大会記念講演



上皇陛下 心臓手術執刀医
順天堂大学医学部 心臓血管外科教授

天野 篤先生

演題「明るい未来への手がかりを探る」

2021年4月4日(日) 13:30~14:30

天野 篤先生 プロフィール

1983年日本大学医学部を卒業、心臓血管外科医を志し亀田総合病院、新東京病院で研鑽を積み、昭和大学横浜北部病院循環器センター教授を経て、2002年順天堂大学心臓血管外科学教授に就任された。

年間約500例の心臓外科手術を行い、成功率98%の実績と手術手技を評価され2012年2月には現上皇陛下の狭心症冠動脈バイパス手術を執刀された。

東日本大震災、原発事故に見舞われた福島県の復興にも大きな関心を寄せられ陰に陽に後押しをして頂いている。

地区大会チャリティー親善ゴルフ大会

2021年4月11日(日) 於:郡山ゴルフクラブ 参加費:5,000円

※コロナ感染拡大防止の状況により、中止になる事もあります。

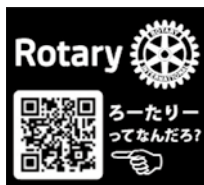
行事案内 (1月)

- ◆指名委員会・諮問委員会
- ◆後期地区委員会総会
- ◆職業奉仕委員会セミナー
- ◆2020学年度米山記念奨学会終了式

日程: 1月9日(土) 場所: ホテルハマツ
日程: 1月23日(土) 場所: 郡山ビューホテルアネックス
日程: 1月30日(土) 延期
日程: 1月30日(土) 場所: 郡山ビューホテルアネックス

公共イメージIT委員会からのお願い

スマホのカメラでQRコード読み取り「お気に入り」登録や「いいね」をお願いします。



紹介HP新聞掲載用デザイン
(福島民報、福島民友)



公共イメージIT委員会
Facebookページ



いわき小名浜RC 比佐臣一

〈今月の表紙紹介〉

遙かな大海原から小名浜・三崎の磯に寄せて来る波涛の姿と薄明の海と空の光景に魅せられて20年、自然の美しさを印画紙に表現することの難しさを思うばかりである。